

2016年5月12日(木)

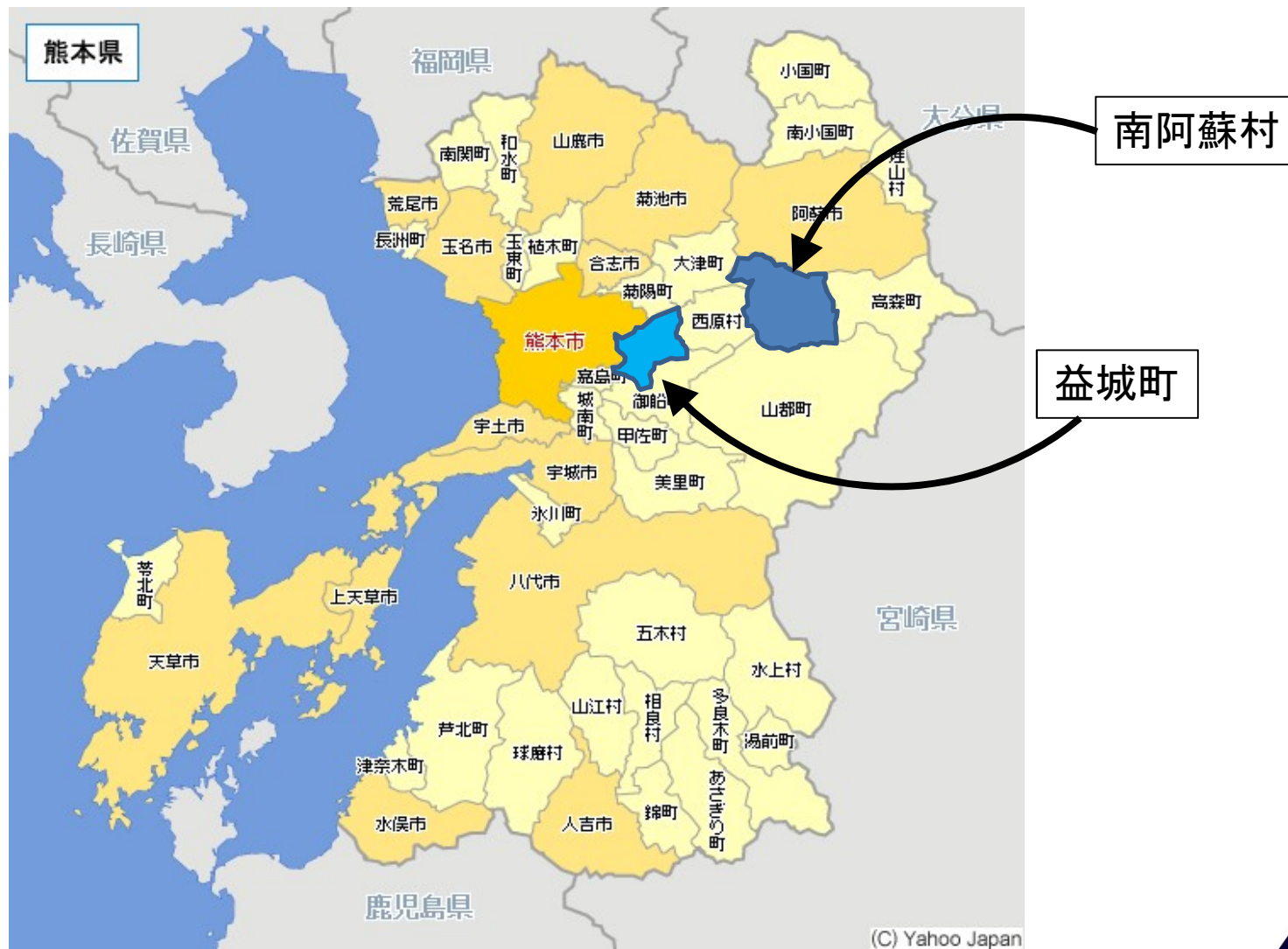
熊本地震を体験して…

熊本大学 葛西 昭
(減災型社会システム実践研究教育センター)

話題提供

- ◆ 南阿蘇村，益城町の位置
- ◆ 2回の震度7
- ◆ 減災センターの動き

熊本県地図



南阿蘇村(交通の結節点)



地形図(国土地理院による)



主要道路



2回の震度7

気象庁発表(5/11 13時現在)による震度6弱以上の地震

発生日	発生時刻	震源地	地震の規模	最大震度
4/14	21:26	熊本地方	6.5	7
4/14	22:07	熊本地方	5.8	6弱
4/15	0:03	熊本地方	6.4	6強
4/16	1:25	熊本地方	7.3	7
4/16	1:46	熊本地方	6.0	6弱
4/16	3:55	阿蘇地方	5.8	6強
4/16	9:48	熊本地方	5.4	6弱

4/14地震直後の研究室

4/14 22:00撮影



4/16 朝の研究室

4/16 10:10撮影



学生ボランティアの動き

4/15 2:00撮影



木山橋(益城町)

4/15 15:00撮影



木山橋(益城町)

5/8 13:50撮影

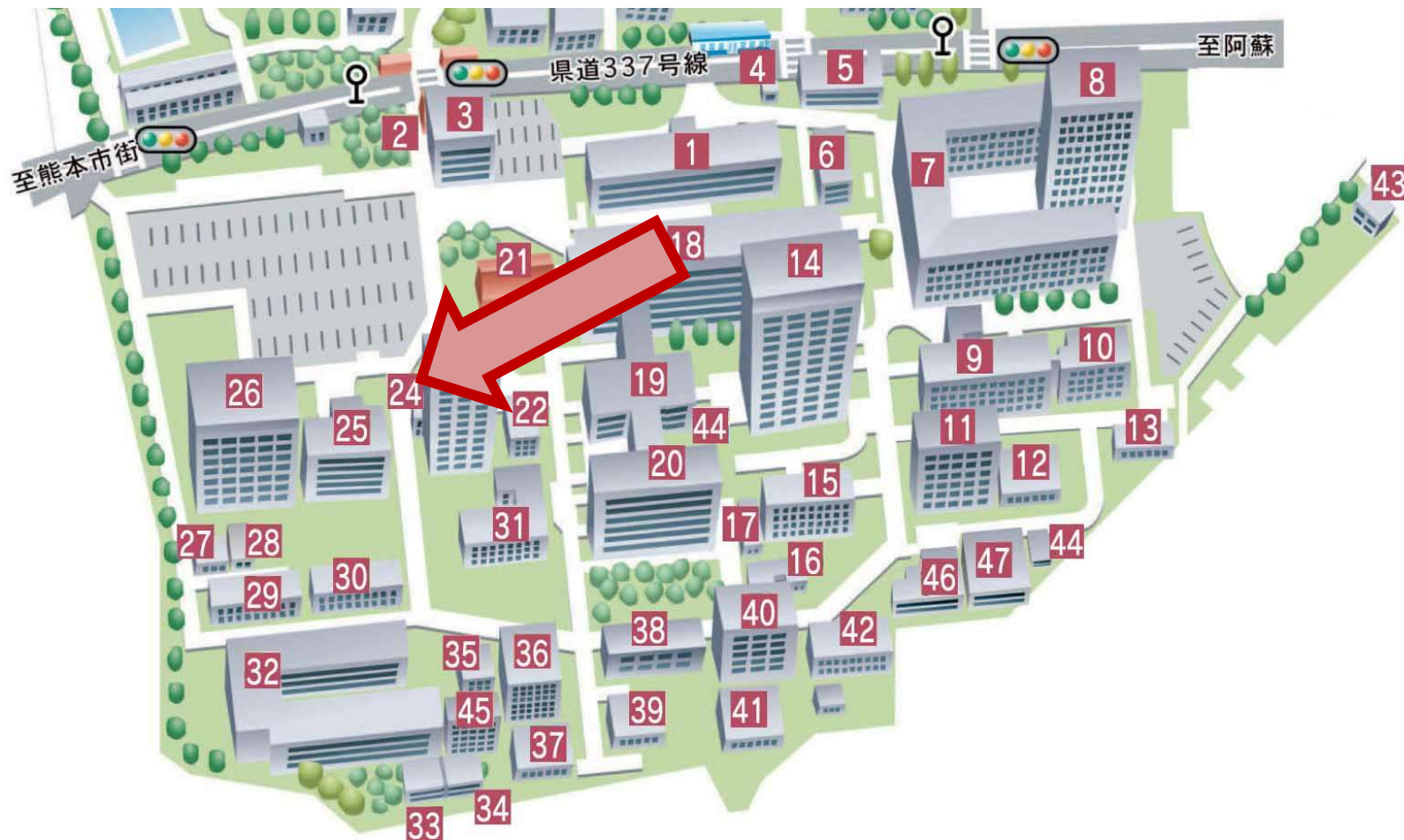


調査隊の結成

4/15 8:10撮影



緊急対策本部の移動



調査隊の結成

4/26 10:00撮影



調査隊の結成



橋梁端部の段差



南阿蘇橋



阿蘇長陽大橋

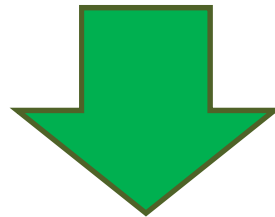


道路の寸断

- 市内には、いくつかの小さな川や用水などが存在する。
- それらを跨ぐいくつかの橋が存在する。
- これらの端部は軒並み損傷しており、段差などが発生することとなった。
- 国道やバイパスのような、大きな道路における特殊橋などの被害もさることながら、多くの橋で段差が生じ、車輛通過などができず、道路の機能を果たせなかった(緊急対応しても、速度が出せず、渋滞の要因にも！！)。

道路の寸断

- もっと、橋梁－橋台－背面土の間の関係を明確にした設計はできないものだろうか？
- 緊急で土嚢等で対応しているところもあるが、無数にあると対応が追いつかない。



落橋防止機構のさらなる発展を望む？！

減災センターの働きかけ

- 九州自動車道にて、緊急車両のみでなく、暫定的に高速バスの運行も可能にならないか、減災センターより働きかけた経緯がある。
- これは、中越地震での記録や記憶を元に対応したもの。
- 最終決定などの決定権はないものの、このような働きかけが学会などから必要なのかもしれない。

最後に

- 熊本大学では、
「**熊助組**」なるサークルが存在する。
- 災害時に、ボランティアをするだけでなく、復旧のために、地域の社会福祉協議会と連携をとって、様々な行動を行っている。
- 多くは、社会環境工学科の学生である。
- このような学生が、我々土木工学関連にいることに、未来への明るさを見いだしたい。



<https://www.facebook.com/kumasukegumi/?fref=ts>